

ピーなっく通信



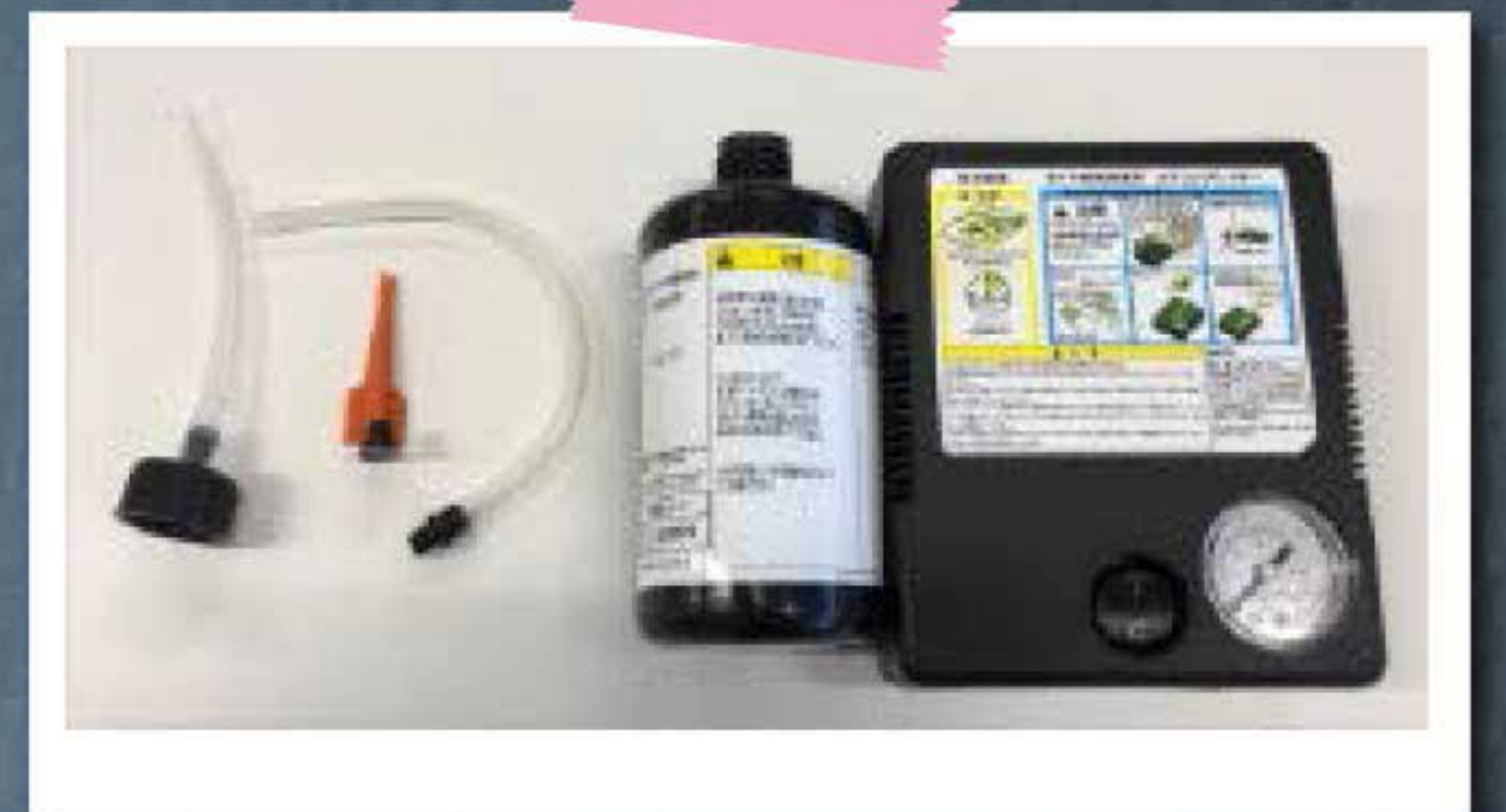
今月2回目の登場★
イエローが担当します。
今回は知っているようで知らない
タイヤパンク修理キットの
使い方をご紹介します！

クルマの知識「タイヤパンク修理キットの使い方」

まずみなさまスペアタイヤの代わりに、タイヤパンク修理キットが入っているのをご存知ですか？
いざ使おうとした時に使えない…ということがないように、今回は修理キットの使い方をご紹介します！



① バックドアを開けて、荷室の下に
修理キットが入っています



② キットの中身です。左から、
チューブ付きキャップ・虫抜き・
修理剤・コンプレッサー

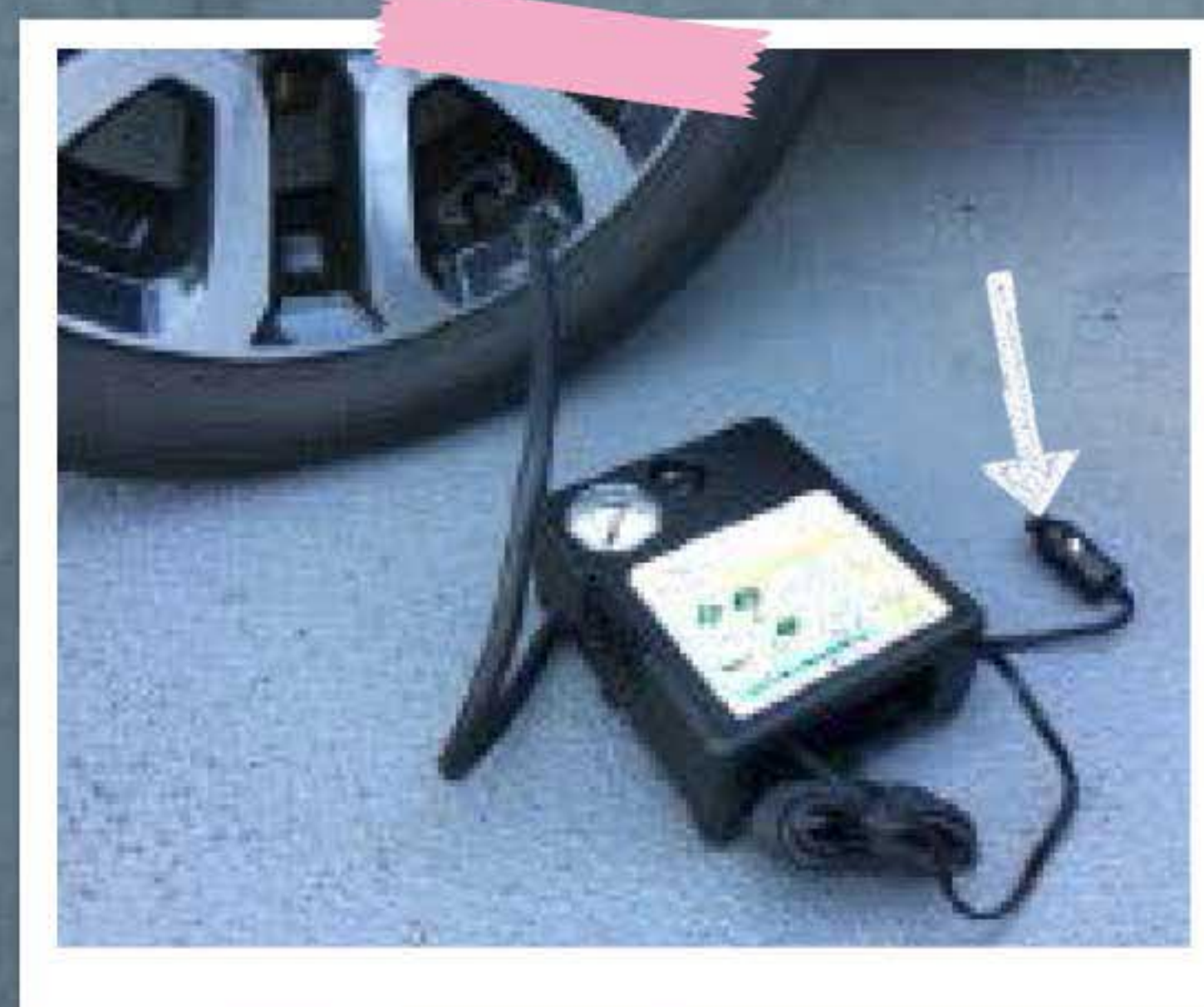
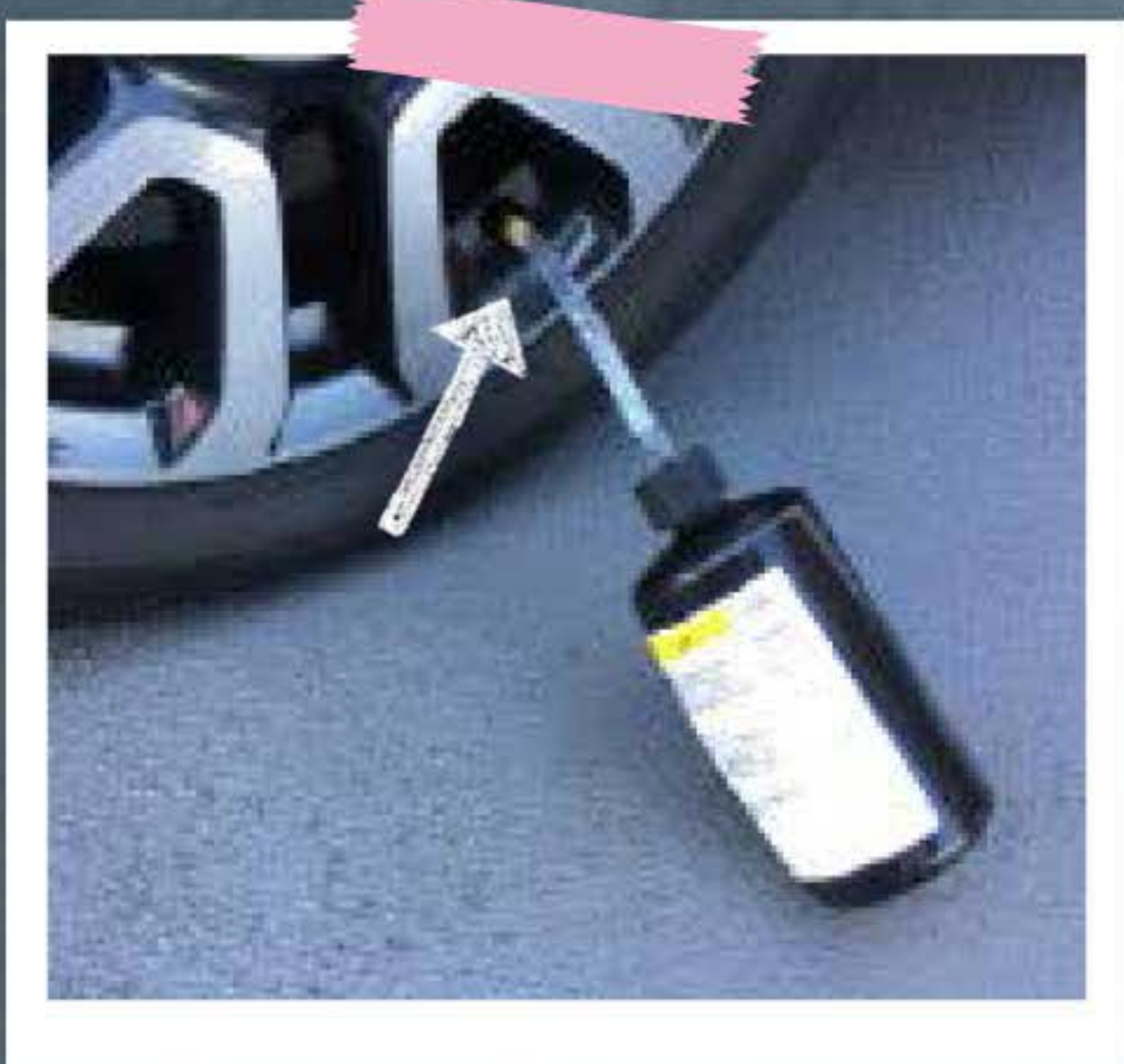
※釘等が刺さっていても決して抜いてはいけません！そのまま修理してください！
サイドが避けている場合は修理不可能なので迷わずJAFなど呼んでください！

※平地であれば可能な限りジャッキアップしてください。
ジャッキアップポイントに関しては車種により異なりますので
取扱説明書をご覧ください。



③ バルブキャップを
はずし、バルブコアを
虫抜きを使って外します。
バルブコアはオレンジ色の
虫抜きの先についている部品です。

④ バルブコアを外したら、
修理剤の出番です。
チューブ付きキャップ
装着します。



⑤ ホースへバルブに差し込みボトル内の修理剤を
全てタイヤ内に注入してください。
全部入れたら必ずバルブコアを元に戻してください。

⑥ コンプレッサーのホース先端の金具をバルブに取付け、
電源プラグをアクセサリースOCKETへ差し込みスイッチオン！



⑧ 修理剤ボトルの
下のシールをはがして
目立つ位置にシールを
貼ってください。

⑦ 車種ごとにエアの規定値が
違うので、運転席側の
ステッカーでチェックしてください！

パンク修理がおわったら…

10分または5km位走行して、再度エアチェックをしてください。
空気が抜けていたり走行に問題がある場合は走行をやめて
速やかにロードサービスなどへのご連絡をお願いします。
コンプレッサーを再度バルブに装着すると数値が測れます。
エアの数値が不足していた場合は、補充してください。

一度修理剤を使用したタイヤはあくまでも応急処置なので、
お早めにディーラーなどにお持ちください。

タイヤパンク修理キットをお使いの際は
同封の取扱説明書を必ずご覧ください。